1992年以降、毎年、デンマーク王国へ中学生を派遣し、地元中学生など

1997.5 リンゲ市とウィスリンゲ市、登別市の3市による『友好の絆』を取り交わす

2007.6 ファボー・ミッドフュン市と登別市の『友好都市協定』を結ぶ

2015.7

2017.12 東京オリンピック・パラリンピック競技大会でのデンマーク王国のホストタウンに登録

2020.7～8 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開幕

2020.8 登別市市制施行50周年記念式典

▲平成６年から市民団体が主体となってデンマーク王国の青年を受け入れ、相互の交流を図っている

▲登別マリンパークニクス開園25周年を記念して、ファボー・ミッドフュン市から、ファボー・ミッドフュン登別友好協会会員22人が来登

で、興味のある方は、企画調整グループに問い合わせください。開催日時などについては、広報紙などでお知らせします。

デンマーク友好都市中学生派遣交流事業（中学生海外派遣事業）

平成４年、国際性豊かな人材育成を目的として、市民間で交流があり、福祉の先進国であるデンマーク王国などへ、中学生を派遣する中学生海外派遣事業を開始しました。

平成24年には、派遣生徒数の上限を引き上げるとともに、デンマーク友好都市中学生派遣交流事業と事業名を変更し、これまで160人以上の生徒を送り出してきました。

帰国後は、それぞれが学んだことを報告書にまとめるほか、報告会を開催し、多くの方にお伝えしています。

派遣を体験した生徒の中には、ホームステイ先の家族と帰国後も継続して交流したり、外国文化にふれて、より英語に興味をもったりするなど、生徒の大きな経験となっています。報告書は、市公式ウェブサイト（http://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2017122200049/）にも掲載していますので、ご覧ください。

国際交流団体との連携

市内には、ファボー・ミッドフュン市をはじめとするデンマーク王国の人々との交流を図る『登別デンマーク協会』やさまざまな国への支援などを行う『のぼりべつ国際交流会』、中国との友好活動に取り組む『登別日本中国友好協会』といった国際交流団体があります。

国際交流は、英語が話せなくても、特別な資格がなくても行うことができる活動です。興味のある方は、企画調整グループに問い合わせください。

登別市がデンマーク王国のホストタウンに

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する選手や大会参加関係者などを招き、スポーツ交流だけではなく、文化交流を図るホストタウンの取り組みは、子どもたちが夢を育むきっかけを創出するとともに、国際感覚を培う貴重な機会となります。

4月には、駐日デンマーク王国の大使を招き、講演会の開催を予定しています。

市は、大会が開幕する２０２０年に向けて、デンマーク王国との交流をさらに深めるよう取り組みを進めていきますので、ぜひ、皆さんもこの機会に世界にふれてみませんか。

デンマーク王国ってどんな国？

▶面積　約4.3万平方キロメートル（九州とほぼ同じ）
▶人口　約570万人（兵庫県とほぼ同じ）
▶首都　コペンハーゲン

世界的に有名な童話作家アンデルセンの出身国でもあるデンマーク王国は、国民の教育水準が高く、高福祉制度の先進国として知られているほか、地球温暖化などの環境対策にも積極的に取り組んでいる国でもあります。デンマーク王国と日本との関わりは古く、1867年の江戸時代から貿易活動などを通じて友好関係が維持されており、2017年には外交関係樹立150周年を迎えました。